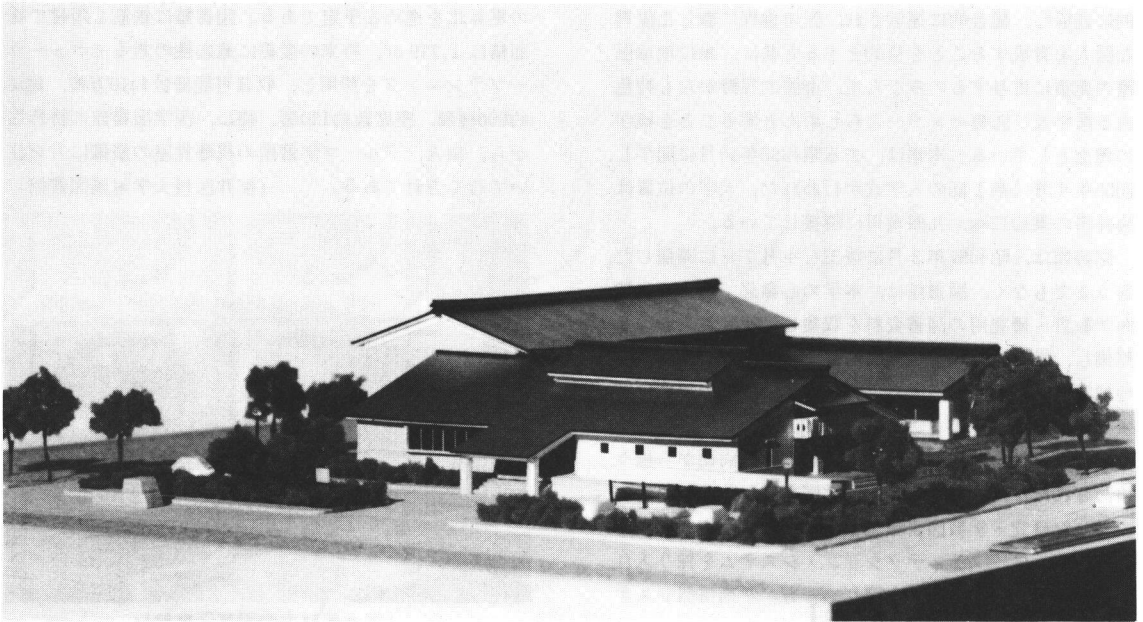


# お 泉 水

№.13 1982. 9. 30 福井県図書館協会報

福井市城東1-18-21・県立図書館内 県図書館協会



(中野重治記念丸岡町民図書館の模型)

## 完成間近い中野重治記念 丸岡町民図書館（仮称）

北陸で現存する唯一の古城“越前丸岡城”をほぼ中心に据えた、人口2万6千・面積108.17キロ平方メートルの小さな織物の町・丸岡町。この丸岡町に来春開館を目ざして、「中野重治記念丸岡町民図書館（仮称）」の建設が進められている。

丸岡城の緑が連なる、1万数千平方メートルの空地の一角に、切妻・越前瓦葺きの屋根・白壁という一見、古風な建物である。この町民図書館は、故中野重治から寄贈された、1万数千点の図書・雑誌・資料等をもつ記念館との併設で、鉄筋コンクリート2階建、延べ床面積1518平方メートル、蔵書収容冊数10万冊の施設規模を備えている。

中野重治記念文庫の併設とはいっても、図書館の性質とかけ離れたものではなく、中野文学のもつ、日本近代文学関係の資料を豊富に備えた図書館の意味合いが濃い。

1階には、A（婦人コーナー）・B（雑誌・新聞コーナー）・C（一般図書コーナー）3部門の開架閲覧室・おもちゃ図書館（おもちゃの貸出し）・おはなし室・郷土

資料室・中野重治記念文庫・燻蒸室・作業室を置き、階段の手すりを利用した書架をのぼりつめると、中2階の児童閲覧室・談話室（図書館利用者の誰でも利用できる気軽な室）2階には、視聴覚室・視聴覚準備室・学習室（学生だけでなく、一般の人が気軽に学習するため）を備えた、近代的な図書館機能をもっている。

また、将来にわたっての基本構想としては、次の5点に集約される。

- ① 住民の文化的欲求に添うもので、“ひらかれた図書館”を目指す。
- ② 青少年健全育成と生涯教育の接点とする。
- ③ 町の資料センターとして、各種資料の収集に心がける。
- ④ “いつでも・どこでも・だれでも”利用できる図書館として、“働きかける図書館”を目指す。
- ⑤ その他、豊かな人間性・創造性を育くむため、職員は近代的な感覚を養い、あらゆる事項に即応してゆく。  
(丸岡町図書館準備室)

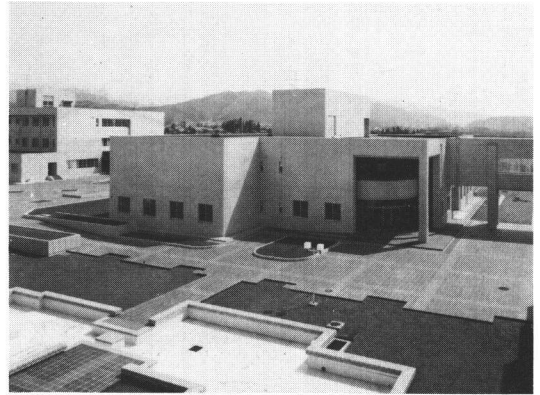
## 新館完成の福井医科大学附属図書館

福井医科大学は、医学教育・医学研究及び医療が有機的に連携し、総合的に運営され、医の倫理に徹した優秀な医人を育成することを目的とすると共に、単に地域医療の充実に寄与するのみならず、全国的視野からも特色ある医学及び医療センターたらしめんとすることを建学の理念としている。本学は、去る昭和53年10月に開学し、同55年4月に第1回の入学式が行われた。大学の位置は、福井市の東約12km、九頭竜川に隣接している。

図書館は、昭和57年3月に竣工し4月7日に開館した。言うまでもなく、図書館は、本学の心臓部である。当然、医学教育・研究用の図書資料を収集し、視聴覚資料等を整備し、学生、教職員の利用に供するとともに、さらに地域医学情報センターとして幅広い医学情報の提供に關する中心的役割を担うことになろう。

図書館建築の基本構想は、施設・機能の両面から種々検討されたが、要約すると、医学図書館としてバランスのとれた研究・学習図書館を指向し、図書館資料の集中管理方式、ブックディテクション・システムを採り入れ全館開架方式による運用を図り、一方「学術情報システ

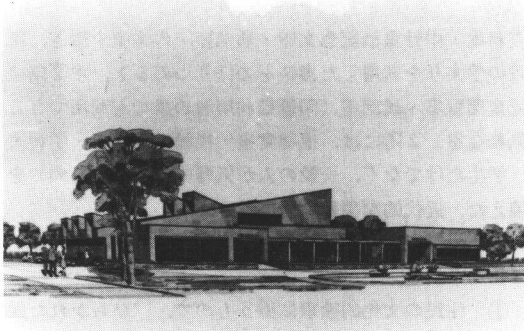
ム」を踏まえながら学内態勢を整備し、また図書館業務の電算化を進める予定である。図書館は鉄筋2階建て総面積は1,719㎡、将来の変更に適応性のあるモデューラープランニングを採用し、収蔵可能冊数約10万冊、雑誌約600種類、座席数約130席、特に、医学図書館の特殊性から、個人、グループ学習用の視聴覚室の整備に力を注いで行く方針である。（福井医科大学附属図書館）



(福井医科大学附属図書館)

## 改築進む今立町立図書館

旧図書館は昭和12年4月に建設されたもので、長く、今立町立花筈図書館として町民に利用されて来たが、その後、老朽化が進み、施設の改築が急がれていた。こん



(今立町立図書館の模型)

どようやく諸準備がととのい、昭和57年度事業として改築されることになった。現在、新たな敷地(今立町定友)を確保、建設中であり、昭和58年3月20日竣工をめざしている。

新館の構造・規模は①構造鉄筋コンクリート2階建て②建築面積769㎡③建築延面積1,059㎡である。施設の内容は①一般閲覧室(270.4㎡)②児童閲覧室(77.8㎡)③会議室(56.4㎡)④視聴覚室・準備室(99.5㎡)⑤書庫(105.5㎡)⑥その他(449.2㎡)である。

新館の設計に当たっては子どもからお年寄りまで町民の誰でもが、気軽に利用できるように配慮している。現在、蔵書は12,000冊だが、近い将来、50,000冊を目標に充実をはかる予定である。また、視聴覚室の高度利用をはかり、町民文化のセンターとしての役割を果たすよう計画している。（今立町教育委員会）

### あとがき

本号は昭和57年度全国図書館福井大会に向けて、特別に企画した。本県は図書館未設置市町村の解消をはかるために昭和57年度から市町村立図書館整備促進事業を始

めた。市町村においても図書館設置の動きが活発となって来た。本号では完成した福井医科大学附属図書館と建設中の丸岡町民図書館と今立町立図書館を紹介した。(係